

# 「炎症性中枢神経疾患における自己抗体の同定」研究

## へのご協力のお願い

### 1. はじめに

東北大学病院神経内科(以下、神経内科)では、東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野および多発性硬化症治療学寄附講座とともに多発性硬化症や視神経脊髄炎、急性散在性脳脊髄炎などの中枢神経に生じる炎症を伴う病気の病態解明のための基礎研究を行っております。これらの病気の原因はまだ十分にわかっていませんが、一部の患者さんの血液中に自己抗体と呼ばれる病原タンパク質の存在し、病態に強く関わっていると考えられています。

### 2. 研究の目的

多発性硬化症、視神経脊髄炎、急性散在性脳脊髄炎や関連した病態と考える症状をお持ちの患者さんの血液中の自己抗体の有無を調べ、自己抗体が陽性の患者さんの臨床的特徴や治療効果などを解析いたします。

### 3. 研究の方法

患者さんの血液を通常の採血法にて採取します。実験室において血清を分離し、血清中に含まれる自己抗体の有無を測定します。治療前後、再発時、安定時などでの変化を解析するため、複数回採取することもあります。自己抗体の測定結果は、カルテ記録による性別、年齢、病気を患っている期間、重症度、臨床検査結果、治療内容などの情報と連結させてその意義が解析されます。これらの情報は個人情報保護した上で使用され、外部には一切公開いたしません。

### 4. 検体の取扱について

採取した血清成分は基本的に直ちに研究に用い、他の目的で使用することはありません。また、血液細胞に含まれる遺伝子の解析はいたしません。血清は、神経内科の実験室の冷凍庫にて厳重に匿名化された状態で保管されます。臨床情報との連結を維持するために、セキュリティで保護されたコンピュータで ID 番号が参照できるように管理いたします。血清は自己抗体以外の血清タンパク質の解析に用いる場合など、検体を別目的で分析する場合、再度倫理委員会に承認を求めます。

### 5. その他

本研究に関わる健康被害(採血部位の痛みなど)については適切な対応を必ずいたしますが、金銭的補償はいたしません。また、本研究は任意参加であるため、同意いただけなくても診療における不利益は一切ありません。また、一旦同意された後でも、研究担当医師あるいは主治医に申し出ていただくことでいつでも同意を取り消すことは可能です。解析結果はご希望があればご説明いたします。研究結果は個人情報をすべて伏せた状態で学会、医学雑誌等で発表させていただきます。本研究に関わる費用はすべて研究費で賄われ、患者さんの負担はありません。

### 6. 連絡先

東北大学病院神経内科外来

電話 (022)-717-7735

東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野

電話 (022)-717-7189

主治医氏名

---

研究担当者氏名

東北大学大学院医学系研究科多発性硬化症治療学寄附講座

三須建郎